

地歴的なものの編集学習について

— 教育実践記録 —

安部 巖

まえがき

社会科の目標は、民主的な生活態度や人間関係・社会機能・対自然環境・歴史的発達の理解態度能力等を養つて行く事とされている。然しこの目標は併立的羅列的に切りはなして考えるべきものではなからう。社会の事象は一つの構造を持つてたえまなく動いている。こう考えて来ると社会科の目標もまた構造的に把握されなければならないし、学習活動もまた構造を持たなくてはならない。言いかえると児童の学習活動は見つけ、考え、つくり出す一連の構造を持つべきではなからうか。こう考えて来る時、社会科の学習方法にどんなものが考えられるであろうか。

今日まで諸先輩の提案されたいろいろな学習方法に対して私は驚異の目を見はつたが、さらにそれ以外に、「編集学習」と言う世界があるように思われてならない。私は今からこの事について簡単に記して見度いと思う。

一、編集学習に於ける考慮すべき点

編集学習とは、一つの問題を解決するために児童に編集の仕事させ、見つける・考える・作り出すの三つの基本的な力を育成する事をねらいとする学習方法である。

この編集学習で考慮しなくてはならない点は、第一に、学年的発達の段階を重視する事である。例えばこれを、読図・描図・作図について考えれば、低学年では絵地

図を中心に、中学年では平面図・見取図・歴史地図を中心に、高学年では平面図・略地図の理解を重視するとか言つたようなものである。

第二には、教師が広い視野を持つ事である。それは三つの働きのそれぞれを伸ばそうとするために忘れ勝ちとなる多くの問題、例えば……児童の問題領域の考慮、学年の大きなねらい、社会科目標より導き出した地理的・歴史的内容等である。言いかえると近視眼的・独善的編集学習からは主要な根本問題が遠のくものを常に念頭におかなければならない。

第三には指導段階に於ける対策を常に考慮しなければならない。それを三つの段階について簡単に述べれば、

1 見つける段階では、

- ・ 学習問題をはつきり掴む……目的の理解。
- ・ 資料を問題に即して探す……見つけたことをすなおに書き抜く。メモ帳や資料書抜用紙の準備。
- ・ 時・所・状態等を綿密に記す……資料用紙にあらかじめ項目を記しておくとうい。
- ・ 友達の話・解説文・教師の話・其他案内者の話等を丁寧

に記しておく。

- ・ パンフレット等あれば出来るだけ集めて整理帳に添附しておく……整理帳の準備・月日の記入。
- ・ 自分の感じた事は項目を別にしてきちんと記入しておく。

等に注意する必要がある。

2 考える段階では、

- ・ 学習問題をもう一度はつきりと確認する。
- ・ 問題と資料を見くらべ関係のあるものをえらび出させる……ノートに整理する。

- ・ 関係のある資料をえらび出したら、それ以外にないかを、さらにさがして見させる……地図・教科書・年表・其他の図書。

- ・ 出て来た資料の持つ意味内容をさらに詳しくしらべさせる……教師の説明・参考書でしらべる。

- ・ 問題と深いつながりを持つものの順にならべて見る。

3 つくり出す段階では、

- ・ 課題のまとめをする……ノート作り・図作り・表作り文章の構成。

- ・ 研究全体の構成をする。

- ・編集の組合わせをする。

- ・研究物を清書する。

- ・清書したものについてさらに内容を理解する。

- ・本づくりをする（編集完成）。

- ・結果の反省をする。

その他、指導方法・地歴的内容の扱い、自然と人間関係等については、とくに児童の心理的な発達段階を考慮する。

二、実践例……別府風土記の編集

ここに記す実践例は、青山小学校六年生の一学級全児童四十六名の共同編集にかかる別府風土記の編集学習についてであるが、次にそれを学習順序にしたがって表示して見ると、

| 順 | 学習活動 | 基本的な力 | 指導上の留意した点 |
|---|-----------------------------------|-------|--|
| 1 | 問題を導く | ・見つける | ・郷土別府にあるいろいろな問題を見つけ、その問題を解決するために話し合いをした。 |
| 2 | 調査問題を決定する ・別府風土記 | ・考える | ・見つけられた三四二の問題から別府風土記の内容を考えた。 |
| 3 | 学習方法話し合いによつてきめる ・グループ別 共同研究 | ・考える | ・話し合いで研究方法をきめた。その結果は、グループ別共同研究となつた。 |

| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
|----------------------|--|---|-----------------------------------|---------------------------|
| 研究目的を再確認する | 調査期間をきめる 授業時数二一時間をきめる | 調査目標 調査場所 調査用具の準備 | 資料の扱い方を指導する 資料用紙 メモ帳資料の交換照合 | 調査の反省をする 話し合い |
| 考える | 考える 見つける 考 | 行う | 考える みつける 考 | みつける 考える |
| ・最高学年として既習郷土問題をまとめる。 | ・個々のグループの目標資料に基いて調査場所をグループ内で話し合い、編集係と連絡する。 | ・児童に準備できるものもあるが、あらかじめ教師の側で準備しておくのも一方法であると思つた。 | ・資料用紙は西洋紙四ツ切と中に印刷を施し児童の調査記録を便にした。 | ↓(全休学習)この話し合い活動をすることによつて、 |
| ・各班毎に実施 | ・教師が直接する。 | ・家庭学習 | ・調査先では研究と関係あるものは、もろさず記入するよう指導した。 | ・自分の集めた資料を整理する。 |

| | | | | |
|--|---|--|--|---|
| 13 | 12 | 11 | 10 | 9 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 第一編地誌 ● 位置 ● 交通量 ● 交通 ● 産業 | <ul style="list-style-type: none"> ● 整理方法 ● 規格統一 ● 全グループの ● 作品持寄 ● 最初の研究計 ● 画通り ● 内容を二編と ● した | <ul style="list-style-type: none"> ● グループ別研究を ● 読み直す ● 児童 ● 教師 ● 整理する | <ul style="list-style-type: none"> ● グループ別に研究 ● をまとめる ● 目次 ● 前書き ● 本文 ● 指導 | <ul style="list-style-type: none"> ● 調査資料を自分の ● グループの目標に ● てらして交換した ● り分合したりする ● グループ別に研究 ● をまとめる |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 行う ● 考える | <ul style="list-style-type: none"> ● 行う | <ul style="list-style-type: none"> ● つくる ● 考える | <ul style="list-style-type: none"> ● 考える | <ul style="list-style-type: none"> ● 考える ● 行う |

児童は見学結果を再確認する事ができ記憶の再生した問題の発見に役立った。何れのグループにも属しない資料が沢山出てくるが之等は教師の側で一つ一つが之理しなるべく利用する(助言を行う)。

グループ別に集つた資料をもとにして研究事項をまとめて見る……文章構成をすこの際レポートの形式書き方の指導をする。

文章の誤りを訂正する。教師が研究結果を見て更に助言指導する。

グループ別研究整理まで何回も何回も見直さねばならないグループがある。

地誌編と風土編に分けた。

地誌の話は児童に理解し易かつたが風土の話はなかなか理解困難であつた。

| | | |
|---|---|---|
| 16 | 15 | 14 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 研究物を見て反省 ● 作文を書く | <ul style="list-style-type: none"> ● 結果の整理 ● 印刷 ● 予備の問題 ● 印刷費 ● 印刷依頼の話 | <ul style="list-style-type: none"> ● 結果の話し合い ● 別府の遊び ● 別府の教育 ● 別府の植物 ● 別府の生活 ● 町と田舎の ● 労働客 ● 観光地 ● 親光の発生 ● 第二編風土 ● 水道 ● 温泉 ● 竹製品 ● 町製品 ● 竹製品 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 行う ● 考える | <ul style="list-style-type: none"> ● 行う ● 考える | <ul style="list-style-type: none"> ● 考える ● 行う |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 交渉には全部子供が参加し興味を持つて活動した。 | <ul style="list-style-type: none"> ● A5判極細字七五頁の本となつたが印刷会社の協力で比較的安価に出来た。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 出来上つた研究物を製本する話し合いをし印刷する事に決定した。 |

以上は別府風土記編集の実践例であるが、三つの力が有機的に連関し合うよい学習活動であつたと思う。

なお、編集学習については述べ度い事も多いが、それは別の機会にゆずる事とする。
(別府市青山小学校教員)

豊後風土記中の大分郡

の酒水について

一一 宮 好 雄

豊後風土記「大分郡」の項に酒水がある。

酒水在那西

此水之源、出郡西柏野之磐中、指南下流、其色如水味小酸、焉用療痲癖、

とある。この川は現在挾間町埴坪、海老毛を通つて向の原東方で大分川に合流する黒川にあたるものと思われる。

この川の全流域にわたつて、しみでるところがあるらしいが、現在大きな泉は三方所で、第一は向の原から上市に通ずる橋下のもので、温泉に利用されている。

第二は、北方部落西南の黒川と初瀬井路の交叉点で、黒川の隧道の中である。

第三は向の原から約二軒黒川をさかのぼつた海老毛部落は

ずれの谷間で湧出口は二カ所になつており上流の水量も多い。いずれも炭酸泉である。風土記中の酒水はこの海老毛のもの指しているものと思われる。(五万分の一地図では礦泉の記号で示されている)

一時礦泉として販売されたと伝えられ、川端の出口は土管を当ててあり、附近の水中は黄褐色の沈でん物でおおわれている。

この放出口から五米ほど離れた竹藪の中に、幅約二米、長さ約六米、深さ約二米で片側に段のついた水槽が石垣をもつて強固に築かれてあり、かつては、この水槽の上の上屋があつたらしく、槽の中や附近に瓦の破片が多数見られる。冷泉として水浴されていたのであろう。現在は川底が掘れ下つたためであらうか、水槽の下を流れているらしく空である。

なお、酒水について「其色如水味小酸」とあるのは、古くは酒はドロクで白濁しており、雑菌の作用で酸味が強かつたのであらうと思われる、そのために「其色如水味小酸」としたものであらう。酒水の「水」は酒の水と解するよりも、酒の川と解するのが正しいのではなからうか、どなたかに御教示を得たい。